



まいづる

〈学校教育目標〉
胸を張って堂々と生きる

（JRCの態度目標）
気付き・考え・実行する

国分小学校ホームページURL <http://www.mct.ne.jp/users/kokubues/>

「叱る・褒める・励ます」ことの大切さ

校長 福留 憲一

家庭教育関係の研修会で、次のようなことがよく話題になります。

「子どもは親の日常生活を観察しながら、様々な学習をしている。親は子どもの観察学習の良きモデルである。子どもは親の行動を観察しながら、大人の考え方、感じ方、行動の仕方などを学習している。通常、男の子のモデルは父親と言われている。父親の行動から大人の男性の行動を学んでいる。女の子のモデルは母親で、母親の行動から大人の女性の行動を学んでいる。」と、言われています。



核家族化・少子化が進むとともに、家族の形態が複雑になったり、地域社会においても横のつながりが急速に薄れてきたりしています。少ない家族の中なのに家族全員での食事も難しく、また一家の団欒も少なく、家族同士の結びつきも弱くなっているのではと危惧されています。一人でいれば、意見のぶつかり合いもなければ、摩擦も起きようがなく、自由にいられます。かつては大勢の兄弟姉妹の中で、家族がぶつかり合いながら、悲しみや喜びを共有し、自分と違った人間の存在を実感し、考えの違いや自他のあり方を自然に学んでいました。しかし、そのような環境が、核家族化、少子化に加え、自由を求める風潮も加わり失われつつあるような気がします。

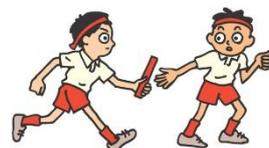
少ない子どもに目をかけすぎて過干渉や過保護になったり、過度な期待をかけすぎたり、放任主義に等しいことに気づかなかつたり、私たち保護者(大人)は、今、胸に手を当てて、自分(自分たち)の教育方針や子育てなどを振り返り、考えなければならぬ時期になっていると思います。ご家族でしっかりと向き合って子育てや家庭教育、地域活動への参加について時間をかけて話し合い、共通理解を図り、子どもに対してぶれのない共通実践をしていただきたいと思います。

親としての責任を果たすため、毅然として正しいこと、悪いことのけじめを示し、教える必要があります。また、褒めるべき時には親子だからと照れず、遠慮しないで声に出して褒めましょう。励ますときは、親身になって励ましましょう。大切なことは毎日の子どもとの触れあいや会話を通した相互理解だと考えます。



子どもはいずれ独り立ちしていきます。その基礎を学ぶ場が家庭や学校、地域になります。主に、家庭では愛する心や人間としての生き方を、学校では社会性やコミュニケーション能力を、地域では社会体験や郷土愛(故郷の原風景)を、これらをミックスさせながら体験的に学んでいきます。ぜひ、叱ったり、褒めたり、励ましたりしながら、子どもをより良く成長させていこうではありませんか。

さて、いよいよ2学期が始まりました。夏休みが終わり、心身共に成長して迎える2学期は、夏から冬への長い学期です。運動会や持久走大会、修学旅行や社会科見学など、行事の多い学期です。行事や様々な活動に対して、それぞれに目標やめあてをもって取り組ませるとともに、「真剣に」「本気で」「精一杯」学習や運動に頑張らせ、保護者や地域の方々々が期待する力を児童につけさせたいと考えています。特に、「胸を張って堂々と生きる」「気づき、考え、実行する」の目標が達成できるよう取り組んでまいりたいと思います。



2学期も保護者、地域の皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。

●芸術鑑賞会

9月9日（金）に鹿児島大学学友会吹奏楽団にお越しいただき、全校児童を対象とした演奏会を開催しました。馴染みのあるアップテンポの曲を中心とした演奏で、手拍子をしたり、体を揺すったりする子どもたちもたくさんいて、楽しみながら鑑賞をすることができました。

途中、楽器の紹介もあり、音の出る仕組みや楽器の歴史なども学ぶことができました。

演奏後は、金管バンドの子どもたちの指導もボランティアでいただきました。美しい音色の奏で方など、実演を交えてのアドバイスのおかげで、短時間で上達した子どももいたようです。



朝から、夕方まで本校のために時間を割いていただきありがとうございました。

●しごと村

ボランティアとして学校にお越しいただいた様々な職業の方が、4年生の子どもたちに仕事について話をしたり、体験をさせたりする「しごと村」を9月11日（土）に実施しました。

保護者に呼びかけたり、商工会議所に協力を依頼したりして、10社、計15名の方が参加してくださいました。趣向を凝らしたプレゼンテーションや、仕事で使う道具を持ち込んでの実演などがあり、子どもたちは、熱心に話を聞いたり、質問をしたり、メモをとったりしていました。

今後、この学習により、分かったことや興味をもったこと、さらに調べてみたくなったことなどをまとめ、発表会を開く予定です。

【講師の方へのお礼の手紙から】

○ 話の中で一番気になったのは、黒い本です。パイロットのお二人はスケジュール帳と言っていましたが、あんなにぶ厚い本をいつも持ち歩いているのはすごいなあと思います。

○ 自然を守る林業の仕事は、とてもカッコいいなあと思いました。



●がんばってます「国分っ子」

※名前の後ろの数字は学年を表しています。

●全国地域安全運動モデルポスター（県審査）

【低学年の部】

<銀賞>上脇 愛莉②

<銅賞>上園 実音②



●鹿児島県図画作品展

<松下孝建設賞>田口 清士郎⑥

<入選>朝倉 由惟③

●霧島ジオパークに関する研究記録

<最優秀>本山 凜門⑥

※ その他の理科研究作品は県審査終了後に掲載します。

<10月の主な行事予定>

1日（土）PTA愛校作業（6:45～）

8日（土）土曜授業、国分地球村（5・6年）

13日（木）トークタイム

小学校陸上記録会（国分陸上競技場）※今年度は6年のみ

14日（金）1年校外学習

15日（土）青少年育成の日

16日（日）家庭の日

20日（木）運動会準備

23日（日）秋季大運動会

24日（月）振替休日

27日（木）トークタイム

28日（金）2年校外学習

社会科見学（3～5年）

セレクト給食（6年）

●子どもたちの安全のために

二学期に入り、登校中に、酒類を提供する店舗から出てきた男性に声をかけられ、携帯電話で写真を撮られたという不審者事案がありました。

※ 詳細については9月9日（金）の国分小メールで発出済

安全指導係（本校職員）を中心に、校区内の危険箇所点検を実施しました。その結果、年々改善箇所が増えていることが分かりました。しかし、水路や崖など、事故を招きかねない箇所はまだあります。



子どもたちが安心して地域で過ごすためには、地域の皆様のご協力が必要不可欠です。子どもたちが危ないと感じる場面を見かけたら、その場で声をかけ、その後、学校に一報いただくとありがたいです。